

中級 UNIT26 名詞構文2

名詞構文について2回目です。前回のテキストでは、抽象名詞を使った名詞構文を紹介しました。今回は、have+動詞の形をした名詞の名詞構文を紹介していきます。

1: Let's have a break.

※休みをとりましょう。

2: Can I have a look?

※(お店で)それを見せてもらえますか？

例文1の“break”は“壊す”という意味の動詞ですが、ここでは“休み”という名詞として使われています。同様に例文2の“look”は“見る”という動詞ですが、“ひと目”という名詞で使われています。このように have+動詞の形をした名詞の形をした名詞構文をここではみていきます。ちなみに have の代わりに“take”、“make”、“give”を用いることもあります。

動詞の形をした名詞

動詞の形をした名詞を含んだ例文を紹介しましょう。

【◆look】

May I have a look?

※それを見せてもらえますか？

【◆rest】

You should take a rest.

※君は休んだほうがいいよ。

【◆speech】

Luther King made a speech called “I have a dream.”

※キング牧師は、「私には夢がある」という演説をしました。

【◆break】

Give me a break!

※(口語表現で)ちょっと待ってくれよ！

見てみるとわかるように、名詞構文としてではなく1つの熟語として覚えているものもたくさんあるかと思います。大事なことは名詞構文かどうかではなく、きちんと英語として使えるかどうかです。

次に“形容詞＋人”の形をみていきましょう。

1: He is a good soccer player.

※彼はいいサッカー選手です。

この文は

2: He plays soccer well.

※彼はサッカーをうまくやります。

とすることもできますが、例文1では“soccer player”という名詞に重きを置いているのに対して例文2では、“play soccer”という動詞に重きを置いていますね。名詞に重きをおいているということでこの形をした文もまた名詞構文と言えます。名詞構文の中では一番わかりやすい形だと思うので、例文を見て頭にすんなりと入れてしまいましょう。

“形容詞＋人”の例文

“形容詞＋人”の例文をいくつか紹介します。わかりやすいように、動詞に重きをおいた文もあわせて書いてあります。

He is an early riser.

/He gets up early in the morning.

※彼は早起きです。

She is a good violinist.

/She plays the violin well.

※彼女はよいバイオリニストです。

He is a fluent speaker of English.

/He speaks English fluently.

※彼は流暢に英語を話します。